

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	262	学校名	仙台市立松陵中学校	校長名	中川 美佳
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のテーマ「今自分たちにできること」

2 取組の紹介



① 地域の落ち葉掃きボランティア

生徒会執行部が中心となり、有志の生徒で校地内や校地周辺の道路や遊歩道、松陵公園と周辺の歩道を中心に落ち葉掃きを3日間行いました。多くの生徒がボランティアに参加し、地域の方々から大変喜ばれました。



② 残食を減らす取組

創立30周年記念講話では、環境活動家谷口たかひささんの「気候変動と自己肯定感」についてのお話を聞き、食べ残しを減らすことが地球の環境を守ることにつながるということを学びました。

給食委員会では残食を減らすことを目的に4月と12月に残食調査を行いました。他にもポスター掲示や放送での呼びかけで残食に対する課題意識を高め、改善を目指す取組を行っています。

給食委員会の取組



創立30周年記念講話



③ 緑化活動

『花壇の手入れと花束づくり』

環境活動の一環として、花壇の植栽や世話をしています。年2回、初夏と秋の終わりに土作り・植付け・草取り・水やりを行いました。夏から秋への植え替えの時には咲いている花を抜かなければならないので、自分で切って花束をつくり自宅へ持ち帰りました。学校だけでなく自宅でもきれいな花を楽しみました。



『創立30周年記念植樹』

創立30周年記念事業の一環として1・2年生が校舎北側の花壇に「コブシ」の木を植樹しました。



3 取組の成果

どの活動も生徒が自発的に取り組む姿が見られました。今年は創立30周年記念行事の中で環境について考える機会がたくさんありました。記念講話をきっかけに環境に関心を持ち、ボランティア活動や緑化活動などに積極的に取り組む生徒が増えています。自分たちの行動が周囲のためになっているという自己有用感の高まりもみられます。

また、残食調査などの取組を通して残食を減らす意識が高まっており、残食は徐々に減っています。今後も環境問題に対する興味関心を高め、生徒たちがより自主的に行動できる場を設けていきたいと思ひます。